

対象地域	フランス リヨン (及びローヌアルプ地方)	在リヨン領事館事務所 リヨン日本人センター治安情報収集チーム	
		作成日	対象期間
調査方法 新聞	Le Progrès 他	2009年1月31日	2009年1月
集計情報の流布	未	在留邦人対象に各団体及び領事館ルート	
調査項目:	① 邦人対象の治安情報 ② テロなどの一般治安情報 ③ 今月の出来事 ④ その他の情報		

報告要旨

1、邦人対象の治安情報

- A、一般的傾向
- B、地区別 犯罪集計結果:補足文書 1
- C、多発の手口と場所の特定、防止策 :補足文書 2

A、一般的傾向

今月は、リヨン北部のリュー・ラ・パーブ市で住民が在宅中に盗難事件にあうという連続被害が報告されている。相変わらず小型商店の強盗事件也多発している。

[補足文書 1]

B、地区別 犯罪集計結果

[補足文書 1]

2009年1月集計結果

	1区	2区	3区	4区	5区	6区	7区	8区	9区	リヨン東	リヨン西	リヨン南	リヨン北	アン県	イゼール県	ロワール県	合計
すり			1														1
空き巣	1									2	1		1				5
置き引き																	0
引ったくり		1	1							1							3
万引き										1							1
強盗		2	1			1	1			7	1		3			1	17
窃盗(車・自転車)																	0
カージャック											1						1
車内盗難							1		1	1			1				4
猥褻行為・強姦																	0
いたずら電話・迷惑																	0
脅し・暴力行為	5	4	5	1	1	2	3	4		13		2	1				41
詐欺(カードなど)			1				4	1		2			1				9
拉致・誘拐																	0
破損・放火			3			1				2	1		1				8
ストーカー																	0
麻薬取引・所持															1		1
飲酒/無免許運転													1				1
その他										1				1	1		3
合計	6	7	12	1	1	4	9	5	1	30	4	2	9	1	2	1	95

備考欄: リヨン東→Mezrieu, Saint-Priest, Bron, Vénissieux, Villeurbanne, Saint-Fons
 リヨン西→Craponne, Chaponost, Francheville, Tassin, Brindas, Brignais, Ecully, Sainte-Foy-Les-Lyon
 リヨン南→Oullins, Pierre-Bénite, Saint-Genis-Laval, Givors, Vernaison
 リヨン北→Rillieux, Vaulx-en-Velin, Décines, Caluire, Genas

* 数字はプログレ紙に掲載された軽犯罪の記事の数で、統計的な意味はない。

【補足文書 2】

C. 多発の手口と場所の特定・防止策（新聞による報道記事から）

① 在宅中に盗難被害に遭う

- 1月28日午後、リユー・ラ・パープ市の女性が警察官を名乗る男からの電話を受けた。男は女性のハンドバックを持った犯人らを逮捕したところで、確認のためにクレジットカードの暗証番号を教えるよう要求。不審に思った女性が折り返し電話をかけるので電話番号を教えて欲しいと伝え、与えられた番号を調べるとある公衆電話の番号であることが判明。女性が確認のために、ハンドバックの置いてあった一階にある部屋に行くとハンドバックとノートブックパソコンが無くなっており、警察に通報した。女性は午後はじめから在宅しており、一階の部屋にハンドバックなどを置いたあと、二階に上がっていた。鍵などが壊された形跡が無いことから、女性が二階にいる間に何者かが住宅に侵入したと見られている。（プログレ紙 1月29日付）
- 1月29日午前7時30分ごろ、リユー・ラ・パープ市の住宅街に、住民らが二階で就寝中何者かが侵入。プラズマテレビ、貴金属などの金目のものを、住民らの車につんでそのまま逃走した。目が覚めた住民が盗難に気付いて通報した。鍵などが壊されていないことから、犯人らは施錠されていない窓かドアから侵入したと見られている。（プログレ紙 1月30日付）

この2件の犯罪は同一人物の犯行と見られており捜査が続いているが、在宅中でもドアや窓は施錠するなどの注意が必要である。

② カージャッキング

- 1月8日深夜、クラボンヌ市の息子宅に立ち寄りようとした74歳の男性が、息子の住むアパートの門を開けるために停車して暗証番号を押そうとしたところ、そばの茂みから飛び出してきた男に拳銃のようなもので脅され、クレジットカード、小切手帳、携帯電話、身分証明書および現金などを奪われた。犯人はそのまま徒歩で市中心街方向へ逃走した。男性は息子宅に駆け込み、憲兵隊に通報。ただちに捜査が開始されたが犯人は見つかっていない。（プログレ紙 1月10日付）
- 1月22日午後8時ごろ、ヴォー・エン・ヴァン市の診療所を閉めた医師が、止めてあった車に乗り込もうとロックを外したところ、覆面をした二人組の男に催涙ガスを吹き付けられた。犯人らは医師の上着のポケットに入っていた車のキーを奪おうとしたが、たまたま通りかかった車のドライバーが犯行に気付き、クラクションを鳴らし続けたために不審に思った付近住民らの注意をひきつけ始めた。そのために犯人らは逃走。ほっとした被害者が気を取り直したところ違う3人組が状況を見て医師の車に乗り込んで逃走しようとしたが、被害者が鍵を持っていたためエンジンをかけられずそのまま逃走した。（プログレ紙 1月23日付）
- 1月24日午後6時ごろ、ロワール県サン＝シャモン市で40歳代の女性が車で自宅から出たところ、拳銃を持った3人組の男らに脅された。女性が要求に従って車を降りると、犯人らは車に乗り込み逃走した。通報を受けた警察が追跡し午後11時ごろ犯人らが現行犯逮捕された。女性に怪我は無かった。（プログレ紙 1月27日付）

脅された場合には下手に抵抗せず、要求に従うほうが無難である。

③ 車内窃盗

1月27日深夜、カリユール市で車内窃盗をはたらいていた32歳の男がパトロール中の警察に逮捕された。男は駐車中の車をこじ開け、車内にあった携帯電話を盗難したことを認めた。（プログレ紙 1月30日付）

車内窃盗は思ったより頻繁に起きている。車内やトランクに貴重品を残したまま車を離れないこと。ちょっとした間車を離れる場合にも、車内には貴重品を残さない。

④ 路上での窃盗事件

- 1月2日午前9時50分ごろ、リヨン3区で22歳の男性が見知らぬ男に話しかけられた。その隙に突然現れたもう一人の男が男性が手に持っていた携帯電話を引ったくった。犯人らはそのまま逃走した。（プログレ紙 1月6日付）
- 1月3日午後5時20分ごろ、リヨン1区のテロー広場付近で歩行者二人が二人組の男に刃物で脅された。犯人らは被害者らの携帯電話を奪った後、近くの現金引き出し機まで同行するように要求。引き出させた300ユーロを奪って逃走した。（プログレ紙 1月6日付）
- 1月11日午後6時30分ごろ、リヨン3区を歩いていた71歳の女性が近づいてきた男に持っていたかばんをひったくられた。（プログレ紙 1月13日付）
- 1月16日夜、リヨン8区のメトロ、メルモズ駅で16歳の少女が突然10人ほどの若者グループに取り囲まれ、携帯電話や身分証明書などを奪われた。少女に怪我は無かったが警察では捜査が続いている。（プログレ紙 1月20日付）

- 1月17日夜、リヨン2区で20歳の女性が通りがかりの二人組の男らに刃物で脅され、携帯電話を奪われた。(プログレ紙1月20日付)
- 1月19日午後9時ごろ、メトロのパール・デュエ駅で21歳の男性が3人組の男に襲われ携帯電話を奪われた。男性は軽傷を負った。(プログレ紙1月21日付)
- 1月20日15歳の少女がパール・デュエのショッピングセンター内で4人組の少女らに暴行を受け携帯電話などを奪われたうえに軽傷を負った。15歳から19歳の犯人らはすぐに補導・逮捕された。(プログレ紙1月23日付)

特に携帯電話をねらった犯罪が多いので十分な注意が必要である。

⑤ 強盗事件

先月の四半期情報でも触れたが、小型商店などの強盗事件が多発している。

- 1月4日、ヴェニシュー市にある開店直後のPMUバーに武装、覆面をした3人組の男らが押し入った。脅された店主がレジの現金を手渡すと犯人らはそのまま逃走した。(プログレ紙1月5日付)
- 1月13日夜、ヴィルクバンヌ市で2件の強盗事件が発生した。一件目は午後7時10分ごろ小型スーパーに刃物を持った男が押し入った。犯人はレジの現金を奪って逃走した。その少し後、同市のタバコ屋に武装した二人組が押し入った。犯人らは居合わせた従業員らを奥の部屋に閉じ込め、開けさせた金庫内にあった現金を奪って逃走した。(プログレ紙1月14日付)
- 1月15日夜、ヴィルクバンヌ市のパン屋が店じまいをしているところに3人組の男が押し入った。犯人らは催涙ガスを撒き散らし現金を奪って逃走した。(プログレ紙1月16日付)
- 1月15日午前8時10分ごろ、リヨン2区の洋服店「ピンキー」の店主が開店準備をしているところに覆面をした二人組の男が従業員用出入り口から侵入。犯人らは数千ユーロのあった金庫を開けさせ店主を縛ったあとそのまま逃走した。被害者は大きなショックを受けたものの、怪我は無かった。(プログレ紙1月16日付)
- 1月16日夜、リヨン北部ヴィルフランシュ市のタバコ屋が店じまいをしていたところ、覆面をした二人組が押し入り拳銃で従業員を脅し、現金400ユーロを奪って逃走した。(プログレ紙1月20日付)
- 1月19日夜、リヨン2区の薬局に拳銃を持った二人組が押し入った。犯人らはわずかな現金を奪って逃走したがその後逮捕された。(プログレ紙1月21日付)
- 1月22日午後5時30分ごろ、ヴェニシュー市の商店に覆面、武装した二人組が押し入った。当時店内には客はおらず、店主は拳銃で脅されレジにあったわずかな現金を奪われた。(プログレ紙1月24日付)

⑥ 偽の肩書きを名乗った詐欺事件

相変わらずの被害報告が続いている。

- 1月2日午後5時30分ごろ、リヨン8区に住む95歳の女性宅にスーパーカルフールの従業員と名乗る二人組が訪問。ポイントカードの有効期限を調べたいと言う口実で女性の財布を開けさせた。二人組が去った後、被害者は財布からクレジットカードが無くなっているのに気付いた。(プログレ紙1月5日付)
- 1月5日午後4時30分ごろ、リユー・ラ・パーブ市の83歳の女性宅に私服警官を名乗る二人の男が出現。確認のために女性宅内を調べたいと要求。男らが去った後、女性はクレジットカードが無くなっているのに気付いた。(プログレ紙1月7日付)

2.テロなどに関する一般治安情報

今月も偽の爆弾事件が報告されている。

- 1月7日午後、バーゲン初日で人出の多いSNCFパール・デュエ駅のエスカレータ付近に不審な荷物があるのが発見された。ただちに爆発物処理班が介入したが、忘れ去られた荷物であることが判明。また同日午後7時30分ごろ、同駅前の広場で再び不審な荷物が発見され、荷物が処理される約1時間ほど付近は通行止めとなった。(プログレ紙1月7日付)
- 1月9日午後1時30分ごろ、リヨン3区パール・デュエ図書館に爆弾予告があった。図書館にはただちに避難命令が出され建物内が捜査されたが爆弾らしきものは見つからず、午後3時20分ごろ図書館は再びオープンした。(プログレ紙1月10日付)
- 1月13日朝、リヨン2区のコーデリエ広場付近に不審な荷物があるのが発見された。ただちに爆発物処理班が介入したが、荷物は爆発物でないことが判明した。(プログレ紙1月14日付)

また、1月24日午後リヨン3区の学生向けレジデンスが爆発する事故があった。当初はテロの疑いもありとして捜査が進められていたが、結局テロの疑いは無く事故であるとして引き続き原因究明のための捜査が続けられている。(プログレ紙1月27日付)

3. 在留邦人の被害事例

ローヌ=アルプ地方における被害報告は特になし。(在リヨン領事館ソース)

4.リヨン、ローヌ=アルプ地方今月の出来事

① 高速道路で乗用車と猪の衝突事故により死者 2 名

1月4日深夜、高速道路 A7 イゼール県サレーズ・シュー・ザヌ市付近で猪と乗用車の衝突事故を発端とした連続追突事故が発生。死者 2 名、重傷 4 名を出す大惨事となった。これにより高速道路 A7 は上り方向が一時閉鎖された。(プログレ紙 1 月 6 日付)

③ 道路凍結によりローヌ=アルプ地方の交通大混乱

1月14日朝 7 時ごろからローヌ=アルプ地方は冷たい曇交じりの雨模様となり、道路が凍結。スリップ事故などが相次ぎ多数の幹線道路が閉鎖された。通勤ラッシュの時間帯であったことも重なり、ローヌ=アルプ地方の交通は大混乱となった。公共交通も正午近くまで全てがストップ。交通事故のみでなく、歩行者らの転倒事故などが相次ぎ、この日だけで 2 人が死亡、3 人が重傷を負い、軽傷は 220 人にも達した。(プログレ紙 1 月 15 日付)

④ ヴェニシュー市の高校で教師が暴行を受ける

1月22日午後 3 時 30 分ごろ、ヴェニシュー市の職業高校で英語の教師が授業中に外部から侵入してきた男に首を絞められるなどの暴行を受けた。その場に居合わせた生徒および隣室にいた教師らが間に入って犯人を取り押さえられた。調べによると犯人は昨年 10 月に退校処分を受けた生徒の兄弟であり、これに復讐しての犯行とみられている。(プログレ紙 1 月 24 日付)

⑤ リヨン 3 区の学生向けレジデンスで爆発事故

1月25日午後 5 時 40 分ごろ、リヨン 3 区パール・デュエ近くヴィヴィエ・メルル通りにある学生向けレジデンスで爆発事故が発生。2 名が重体である。この事故により建物内にいた住民らにはただちに退去命令がだされた。同建物はオール電化となっており、警察消防で事故の原因を調べている。(プログレ紙 1 月 26 日付)

⑥ リヨン北部リユー・ラーパーブ市で金塊 300 キロが盗まれる。

1月27日午前 7 時ごろ、リユー・ラーパーブ市の貴金属再処理会社に強盗が押し入り金塊 300 キロ、金額にして約 800 万ユーロほどが盗まれた。同社は看板も社名も外に出しておらず、警察はプロによる組織的な犯行とみて捜査を続けている。(プログレ紙 1 月 28 日付)

⑦ 全国的な公務員ストライキ

1月29日、政府の改革案に反対して全国的な公務員ストライキが行われた。交通、教育機関などに大きな混乱が見られ、各都市でデモ行進が行われた。(プログレ紙 1 月 30 日付)

5.その他の情報

①リヨンでの大気汚染

1月はじめより、リヨン地区の大気汚染公害が顕著になっている。盆地になっているリヨン地区の大気中に含まれる有害物質が停滞し、大気汚染が重要な問題となっている。この事実に伴い、幹線道路では時速 20 キロの減速が義務付けられ、子供やお年寄りまたは気管支が弱い人には屋外での運動を止めるように呼びかけている。(プログレ紙 1 月 14 日付)

② Vélo'v 破損の罪で拘留される

昨年末より、警察はインターネット上に Vélo'v の自転車を破損している光景を納めたいくつかのクリップ・ビデオが流れているのに注目し、捜査を続けていた。その結果、リヨンとロアンヌに住む 18 歳の少年二人を器物破損の罪で拘留した。調べによるとこの二人はリヨン市内で酒に酔った勢いで自転車を破損させ、その光景を携帯電話で撮影。その映像をインターネット上に流していた。3 件の自転車盗難および 2 件の破損の罪により二人は今年 3 月に裁判所に招集されている上に、自転車の所有者である JC Decaux 社に一台 980 ユーロする自転車の補償金を支払うことになる。(プログレ紙 1 月 8 日付)